

13 ラップ後のロールベールを倒立させるためのラッピングマシンの改造

キーワード	ロールベール、ラッピングマシン、倒立、縦置き
担当	宮崎牧場 飼料課
連絡先	電話：0984-23-3500 ファックス：0984-24-0953 電子メール：nlbc_miyazaki@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

一般的にロールベールをラッピングマシンでラップすると、テーブルが傾き地面に転がり落ちるようになっていきます。このため、ラップを終えたロールベールは横向きになっています。

しかし、ロールベールが横向きの状態では、作業場所に傾斜があると転がる危険性があります。また、横向きの状態では、市販のロールベールグラブではつかみづらいという欠点があります。

このため、作業の危険性の回避と効率性の向上を目的とし、ラップを終えたロールベールが縦置き（倒立した状態）になるようにラッピングマシンの一部を改造する工夫を考案しました。

2 内容・特徴・効果

改造は次のとおりです。

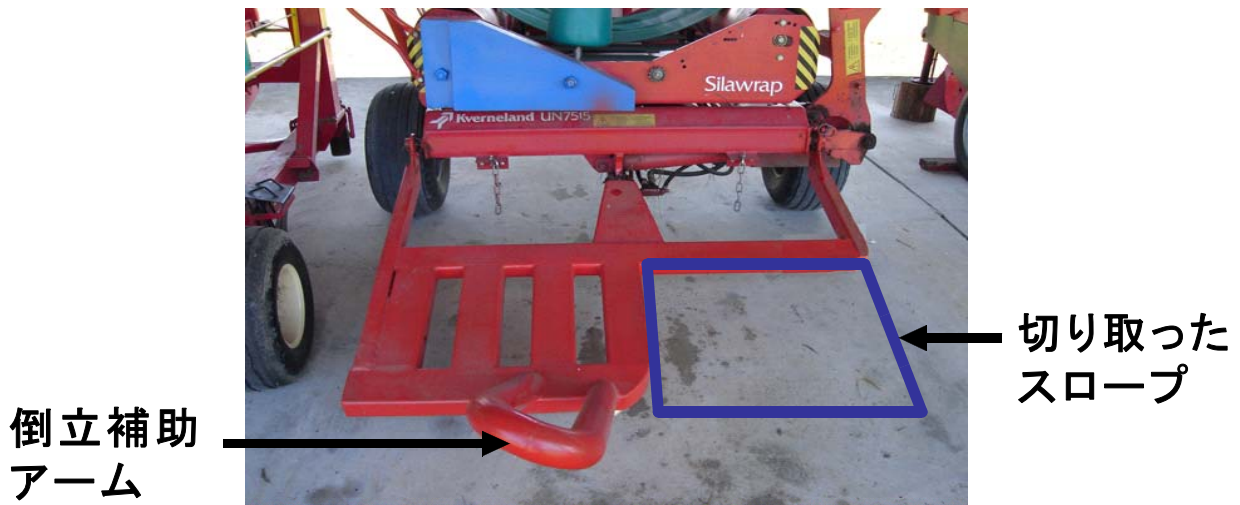
- ① 先ず、ラッピングマシンの後部にあるスロープを約1/2切断し、切断面を滑らかに削りました。
- ② 次にロールベールが転がり落ちると同時に倒立できるように、独特な形状の倒立補助アームを取り付けました。

改造に要した材料費は3万5千円程度でした。

こうした改造により、8割以上のロールベールを倒立させることが可能となりました。また、このようにロールベールを倒立させることにより、ロールベールグラブの取扱が容易になり、トラックへの積込み時間が大幅に短縮されました。



写真1 ロールベールの向きの違いによるグラブのつかみ方



ラッピングマシンの改造部分

写真2 ラッピングマシンの改造



左写真のように、ラップを終えたロールベールがスロープを転がり落ちると、切断したスロープ部分に倒立します。

右写真のように、鉄パイプで作成した補助アームは、ロールベールを倒立させるために極めて有効です。